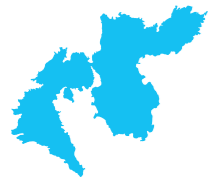


# 町勢要覧

わたしがつくるみんなの「わがところ」  
未来へ誇れるまち 西ノ島



Nishinoshima  
Town

発行／西ノ島町役場 企画・編集／西ノ島町政策企画課

〒684-0303 島根県隠岐郡西ノ島町美田600番地4

TEL:08514-6-0101 FAX:08514-6-0683

E-mail:info@town.nishinoshima.shimane.jp

表紙写真：森山勝心 撮影地：国賀海岸



西ノ島町

Shimane Nishinoshima Town

# 絶景と癒しの宝島



西ノ島町は、日本海に浮かぶ隠岐群島の島前地域にある一島一町で、国賀海岸を中心とした美しい景観や恵まれた海洋資源などを活かした、漁業・畜産・観光を基幹産業としたまちづくりを進めています。

近年、日本は低成長・人口減少の時代を迎え、離島・中山間地域を取り巻く環境は一層厳しさを増していますが、この島に古来大切に継承されている、自然、文化、歴史、そして町民の暮らしを守り、次世代に引き継いでいかなければなりません。

持続可能な西ノ島の未来のために、地場産業の振興や、UIターンの拡大と次代を担う人づくり、医療福祉の環境整備等に取り組み、皆さんと力を合わせて「笑顔あふれる元気なまちづくり」を目指してまいります。

この町勢要覧では、本町の概況とともに隠岐ユネスコ世界ジオパークを代表する国賀海岸の雄大な景観、伝統・文化、人々の営み等を紹介しています。ぜひ西ノ島町の魅力をご覧ください。

西ノ島町長 坂栄 一秀

## Contents

西ノ島町について	4-5
沿革	6
行政	7
総合振興計画	8-13
伝統文化	14-15
文化財	16-17
施設	18-19
グルメ・特産品	20
西ノ島町マップ／アクセス	21

# 西ノ島町について

## 町民憲章

国賀の雄大な自然と豊かな海の資源は西ノ島の誇りです。

私たちは、この美しいふるさとに生きることをよこび、平和で明るい町づくりをめざし、この憲章を定めます。

(昭和62年11月3日制定)

- 1.美しい自然と歴史を大切にし**文化の香りに満ちた町**をつくりましょう
- 1.明るく仲よく助け合い心身ともに健やかで**生きがいに満ちた町**をつくりましょう
- 1.清新な気概とたくましい創造力をもって産業をおこし**豊かさに満ちた町**をつくりましょう

## 位置、地勢

島根半島から北東へ約65km、日本海に浮かぶ隠岐諸島は大小180余りの島々から成り立つ群島型離島です。この中で人が住む島は西ノ島(にしのみま:西ノ島町)、中ノ島(なかのみま:海士町)、知夫里島(ちぶりじま:知夫村)、島後(どうご:隠岐の島町)の4つで、島後に対して西ノ島、中ノ島、知夫里島の3つをあわせて、島前(どうぜん)と呼び、大きく2群島に整理することができます。

西ノ島町は島前の3島のうち西ノ島を占め、1つの島で1つの町を形成しています。

## 気候

西ノ島町は、対馬暖流の影響を受けて、日間気温差は比較的少なく、2024年の年間平均気温は16.3度と比較的温暖で、降水量は年間総雨量1,442ミリとなっています。

冬期は北西の季節風が強くなり、200~300mの山脈を背に内湾に面する大部分の集落は、しのぎやすくなっています。

## 通天橋 (つうてんきょう)

海に大きくせり出した巨大な岩の架け橋。岩石の中央部が海蝕作用によってえぐりあげられたもので、大自然が創り出した造形の妙を見ることができます。約7kmにわたって粗面玄武岩の海蝕崖や海蝕洞が続き、国立公園に指定されている隠岐最大の景勝地、国賀海岸にある代表的な奇岩です。



### 町章

西ノ島町の地形を図案化し、調和のある発展を象徴、円は町民の融和と団結をあらわす。

### 町の木



[黒松]

### 町の花



[椿]

# 沿革

## 古代

隠岐は、古事記・日本書紀でみられるように国土生成の時より大八洲の1つに数えられ、歴史的には古い島であるといわれています。上古には大陸間海上交通の要衝であり、孤島とはいえ、早くから開けた島であったので、古代国家の体制が確立すると共に島でありながら一国として扱われ、応神朝には隠岐国造が任ぜられました。



後醍醐天皇



隠岐 焚火の社  
(初代歌川広重画)

## 中世・近世

律令時代に隠岐は遠流の地に定められ、以来近世まで一貫して流刑の島として遠流刑に処せられた人々は数知れないといわれています。その中には中央の史上に顕れる知名度の高い名士や高官もあって、地域の文化や一般庶民の生活・風俗に及ぼした影響は大いなるものがあつたと思われまます。

近世は、北前船の風待港として栄え、上方文化の影響を直接受けるなど流人の島としては文化的に比較的恵まれた環境であつたといえます。



## 現代

西ノ島町は、昭和32年2月11日、国の画期的な町村再編成の線にそって、旧黒木村と旧浦郷町が合併した町で、隠岐の島町に次ぐ人口を有し、島前地区の産業、交通の中心地となっています。

それ以降漁業と観光・畜産の町として発展し、昭和38年には大山隠岐国立公園に指定され、隠岐を代表する景勝地、国賀海岸により広く知られています。



# 行政

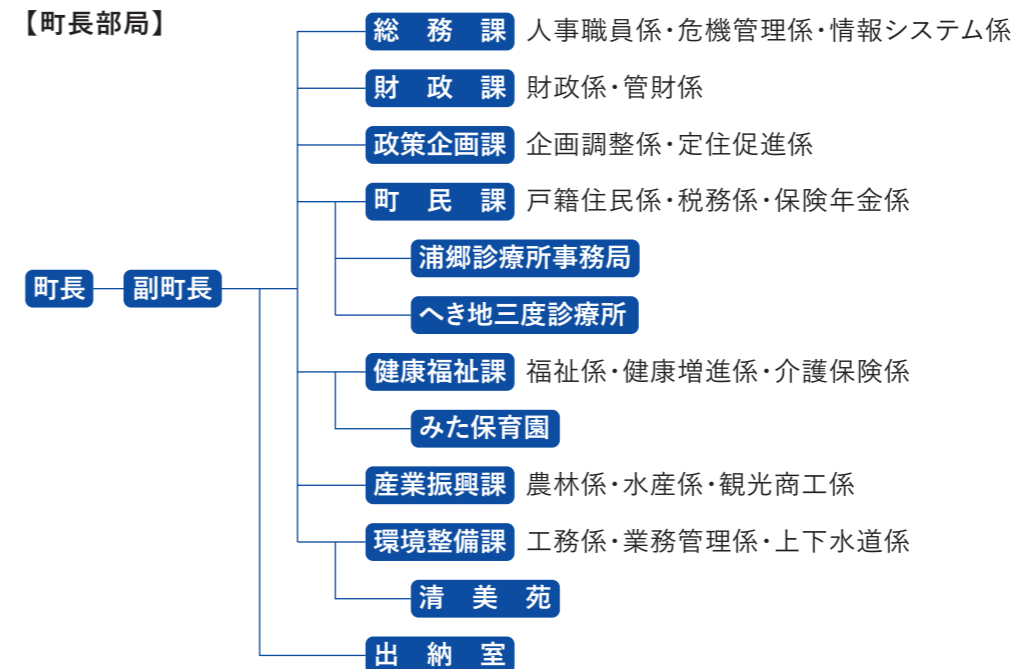
## 西ノ島町役場

「人の力」が主役となったまちづくりを進めることを第一に、豊かな資源を活かし、みんなで助け合い、心身ともに健やかな「笑顔あふれる元気なまち」の実現に向けた住民サービスを提供します。

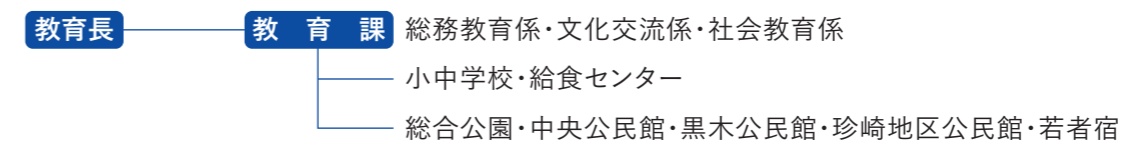


### 行政機構図

#### 【町長部局】



#### 【教育委員会】

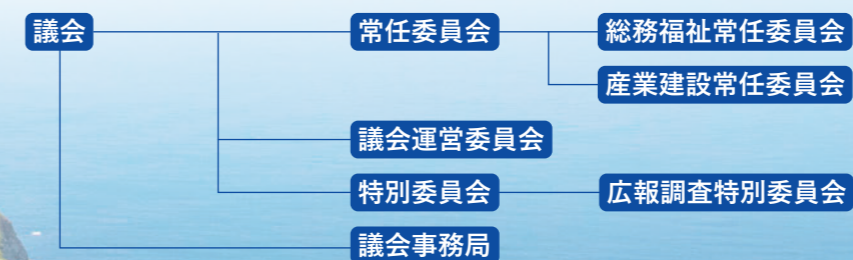


## 西ノ島町議会

町議会は、住民の代表として、西ノ島町をより豊かで暮らしやすい町にしていくために、町長が提案する予算、条例などの調整の重要な事柄を審議し、最終決定する大切な役割を担っています。



### 議会機構図



# 第6次西ノ島町 総合振興計画

西ノ島町に関わるすべての人が、この島に愛着を持ち、「わがとこ」意識を感じながら、未来に向かってわくわく暮らしていけるようなまちづくりを進めていきたいとの思いから、将来像(めざす姿)を【わたしがつくる みんなの「わがとこ」～未来へ誇れるまち 西ノ島～】と決めました。

## まちづくりの基本方針

将来像(めざす姿)の実現に向け、まちづくりを具体的に進めていくための基本方針を以下のように決めました。

# 1 あんきに暮らせる 「わがとこ」をつくる



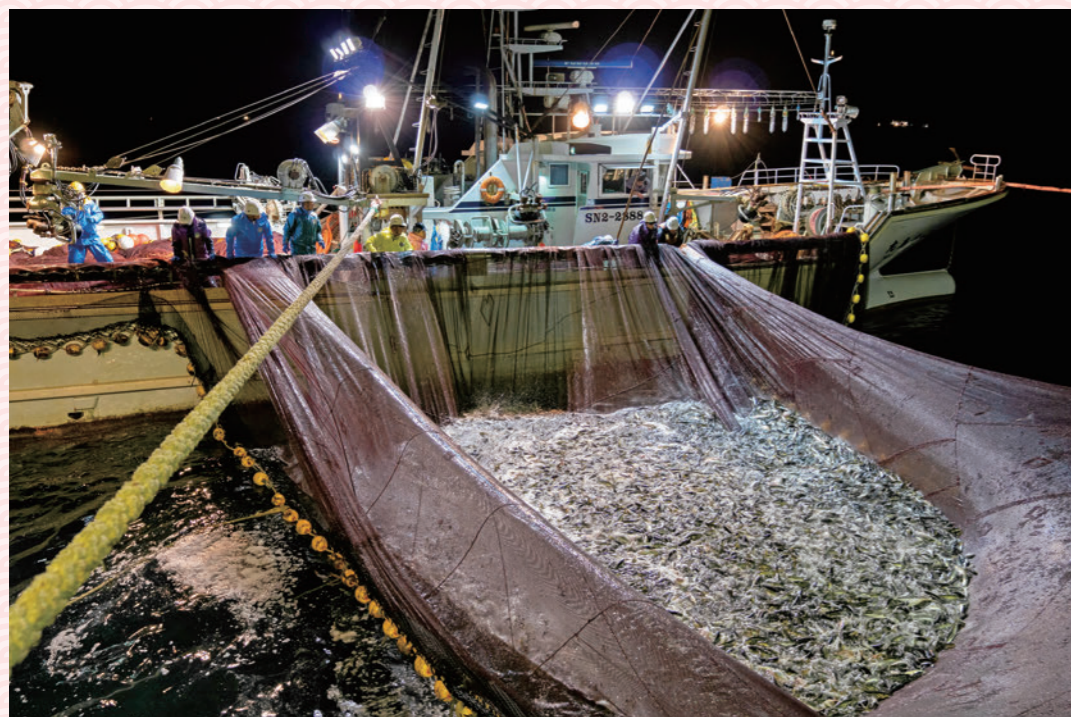
### イメージ

- 必要な医療や福祉にアクセスでき、心身ともに健康に暮らしている
- 住民どうしのつながりがあり、助け合いながら暮らしている
- インフラが整い、平時だけではなく災害時にも安心・安全に暮らしている

### 施策分野

健康／医療／高齢者福祉／障がい者福祉／コミュニティ・つながり  
人権・共生／防災・防犯／住宅・公園／道路・交通／上下水道・環境衛生





方針

# 2

## 活気あふれる「わがところ」をつくる

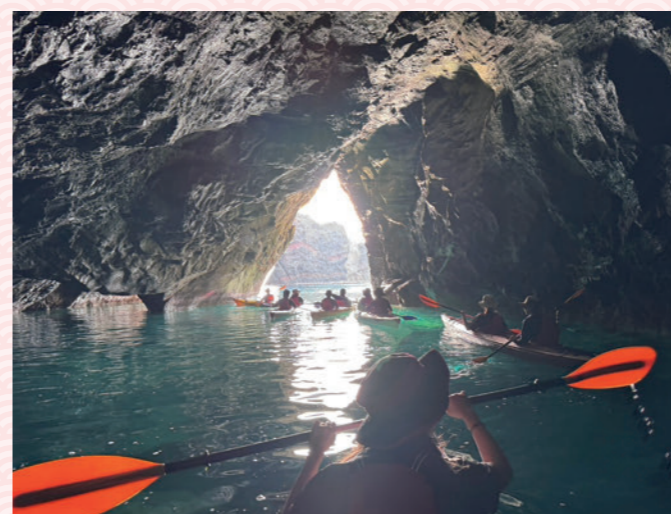


### イメージ

- 西ノ島の魅力を、産業や観光などの分野に活かし、新たな価値が生まれている
- 一人ひとりが生きがいをもち、やりたいことにチャレンジし、楽しく暮らしている
- 西ノ島に人が集い、島の内外の人々の交流がある

### 施策分野

水産業／観光業／畜産業・農林業／社会教育・伝統・文化／プロモーション  
／移住・定住





# 方針 3 「わがところ」の魅力を未来に受け継ぐ

## イメージ

- 地域のつながりの中で安心して子育てができる
- 子どもたちが西ノ島の特徴や魅力を学び、愛着や誇りを感じている
- 西ノ島が誇る自然環境が守られ、未来に受け継がれている

## 施策分野

子育て／学校教育／自然環境・エネルギー



## 隠岐ユネスコ世界ジオパーク

ジオパークは、「大地の公園」と訳されています。私たちが住む地球のプレート活動や火山活動によって造られた大地と、その大地の上に広がる生態系、そして、私たち人の営みである歴史や文化などとのつながりを楽しく知ることができる場所です。言い換えれば、地球の仕組みを知ることができる場所なのです。

日本海に浮かぶ四つの有人島と180余りの無人島からなる隠岐。はるか3万年前にはすでに人が住み、石器時代は黒曜石の産地、中世は後醍醐天皇などの遠流の島、近世は北前舟の風待ち港として時代ごと

に存在感を放ってきました。

こうした歴史と、日本形成が垣間見える大地、謎多き生態系が存在する隠岐は、世界的に見ても貴重な島。

2017年9月9日には、「世界ジオパーク」に認定されました。

隠岐がジオパークと呼ばれているのは、目の前に広がる絶景や不思議な生態系、地元独特の文化から、大地がどうやって生まれたか、人と自然はどうつながっているかを、まるで探検するように学べるからです。さまざまな謎を解き明かすカギを、見つけに来てください。

参考URL:「人と自然をつなぐ島 隠岐ユネスコ世界ジオパーク」  
<https://www.oki-geopark.jp/>

# 伝統文化



## しゅうはいら 十方拝礼

美田八幡宮で西暦奇数年の9月中旬に奉納される祭礼であり、「神の相撲」「獅子舞」「田楽」の3部で構成されます。

美田八幡宮に田楽が奉納されたという記録は天正18年(1590年)が最も古いものですが、口伝によると後白河法王時代に島に入ってきたといわれています。

このうち芸能として特徴をよく残している田楽は地元では「十方拝礼(しゅうはいら)」と呼ばれ、全国的に見ても屈指の芸能であるとして平成4年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

## にわのまい 庭の舞

日吉神社で西暦偶数年の10月に奉納される祭礼であり、「庭の舞」「神の相撲」「田楽」の3部で構成されます。

この庭の舞は今から800年前に近江国甲賀群真野庄の領主であった真野宗源が戦乱を避けて、隠岐に逃れた際に伝わったものといわれています。

平成4年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。



## おきどうぜんかぐら 隠岐島前神楽

島前では7月になると各地で夏祭りが催されますが、その時奉納されるのが隠岐島前神楽です。県の無形民俗文化財に指定されています。



## しゃーらぶね 精霊船

町内の美田・浦郷地区に残る送り盆行事で毎年8月16日の早朝に行われます。

今から100~150年ほど前に西ノ島では5~6人が乗れるような大型の精霊船を各地区毎に共同で造るようになったといわれています。竹や木を骨組みに、麦わらを船体にし、帆柱を立て、帆には色紙で作られた無数の盆旗を結びつけたその姿は素朴なものです。人目を引きつける華麗さを持っています。



# 文化財



## 焼火 はつまいり

焼火神社がある焼火山には旧暦12月30日の夜、海上から火が三つ浮かび上がり、その火が現在、社殿のある巖（いわや）に入ったという信仰があります。以前は、隠岐島全体から集まって神社の社務所に籠り、ご神火を拝む風習がありました。現在もその名残を留め、旧正月の2月5日から島前の各集落が、各々、日を選んでお参りするはつまいりが传承されています。

## 焼火神社

平安時代から全国に海上安全の神として知られた神社です。焼火山の中腹にあり、明治以前には焼火山・雲上寺と称していました。一般的には焼火権現として知られています。平安中期の創建といわれ、社殿は大岩窟の中からせり出すように建てられています。平成4年に国の重要文化財に指定されました。



## 焼火権現

焼火権現は、「焼火神社」のご神体であり、海上安全の神として崇められています。「ゲゲの鬼太郎」で有名な水木しげる氏のデザインにより、別府港ターミナルに設置されました。

©水木プロ



## 由良比女神社

「隠岐国一の宮」。延喜式神名帳に見える古社で漁業神、海上守護神として島内の信仰を集めています。鳥居が海中に立ち、その入江にイカの大群が押し寄せることで知られております。

## 黒木御所

別府港の東、湾に突き出た丘の上にあり、元弘2年(1332年)、後醍醐天皇が配流になられ、約1年間住まわれたといわれる伝承の地で、島を代表する史跡となっています。丘の上には御所の史跡の他、天皇をまつる黒木神社があり、昭和33年に県史跡に指定されました。



## 由良比女神社 大祭

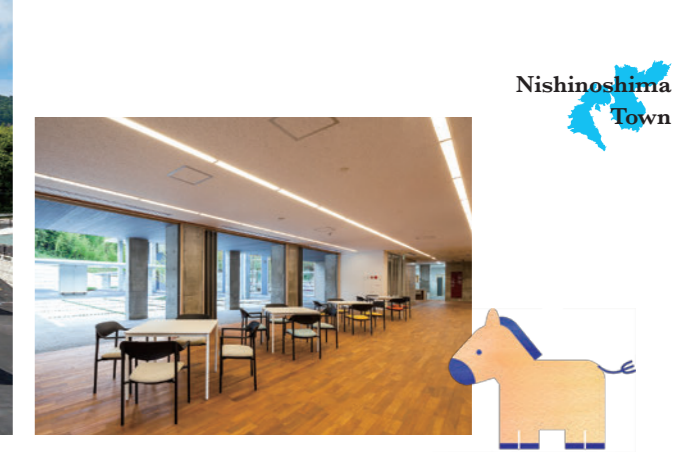
隔年(西暦奇数年)の7月最終の土日に行われる由良比女神社の大祭で数多くある島の祭の中でも最大規模のものです。



## 帝祭

後醍醐天皇が隠岐を脱出されたことにちなんで、黒木御所周辺を舞台に御所車行列や時代行列が練り歩きます。





## 西ノ島町コミュニティ図書館「いかあ屋」

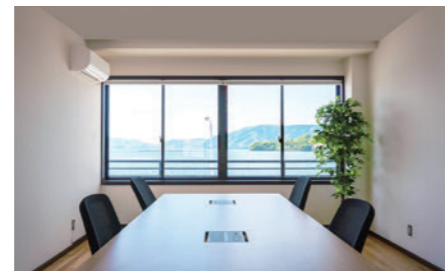
平成30年7月開館。地域に住まう人と人、またこの地域を訪ねる人と人、さらには住まう人と訪れる人が出会い、豊かな生活を育むコミュニティ機能を提供する「コミュニティ図書館」をコンセプトとして設計しています。図書館機能だけでなく、カフェやキッチンスペースが併設されているなど、多様な機能を有しています。

### 「いかあ屋」の意味

「いかあや」は、西ノ島の方言で「行こうよ」という意味の言葉です。誰もが行きたくくなるような場所になってほしいという思いが込められています。また西ノ島では、お互いのことを屋号(家ごとの名前)で呼び合う習慣が残っています。そんな島の家々と同じように、図書館もみんなの家となるよう、『いかあ屋』という屋号をつけました。

## 西ノ島町テレワークオフィス

令和5年度供用開始。「人と人とのつながりを生む、これまでにない新しい“居場所”」をテーマに、個人や企業がテレワークを行うためのオフィス機能だけでなく、人々や仕事、コミュニティとの出会いを提供しています。地域住民、地域企業、誘致企業、UIターン者、学生たちが交流し合い、情報交換や相談ができるオープンな場所として利用することができます。設備として、サテライトオフィス、コワーキングスペース及び会議室が整備されています。



## 西ノ島町役場

令和3年度竣工。高レベルの耐震機能を有した防災拠点となっています。また、交流や賑わいの場として活用できるよう、1階交流スペースと屋外の多目的広場が一体となる設計になっています。



## 隠岐広域連合立隠岐島前病院

病床数 44床、診療科 常設：内科・小児科・外科、非常設：耳鼻科・眼科・整形外科・精神科・産婦人科



## 西ノ島総合公園

温水プール(25m×6コース)、多目的広場(野球場)、町民体育館、テニスコート4面など。

## 別府港ターミナル

西ノ島町の玄関口としてフェリー、高速船及び内航船が発着するほか、第2ターミナル1階には観光協会があり、観光案内やレンタサイクル貸出しなどを行っています。そのほか、第2ターミナル2階には、全国の離島で初となるモンベル公式の販売コーナーが設置されており、西ノ島町オリジナル商品も販売しています。

## 西ノ島町立西ノ島小中学校

平成28年度竣工。令和3年度より小中一貫教育を開始し、9年間の連続性・系統性・一貫性を生かした学習活動を行うことにより、「確かな学力」「ふるさと愛」そして「豊かな心」を兼ね備えた人材育成を目指しています。



## 西ノ島町立みた保育園

定員45名。子どもの興味を大切にしながら、対話を通して主体性を育む保育に取り組んでいます。また、多様な人との関わりを持ちながら、様々な自然体験を行い、島という環境を活かした取り組みを行っています。



# マップ・アクセス



**・航路**  
西ノ島町と本土間においては、フェリー3隻と高速船1隻が運航しています。

**・内航船**  
島前3町村間においては、2隻の内航船が運航しています。



超高速船レインボージェット



## アクセス

- 【JR】** ●東京(新幹線)→岡山(伯備線)→米子…約6時間 ●大阪(新幹線)→岡山(伯備線)→米子…約3時間 ●福岡(新幹線)→岡山(伯備線)→米子…約4時間
- 【空路】** ●東京(羽田)→出雲…約90分 ●東京(羽田)→米子…約80分 ●大阪(伊丹)→出雲…約50分
- 【高速バス】** ●東京・大阪・神戸・京都・広島・岡山・福岡→松江もしくは米子
- 【高速船・旅客フェリー】** ●七類又は境港(フェリー)→西ノ島町・別府…2時間30分 ●七類又は境港(超高速船)別府…1時間(直行便の場合)

# グルメ特産品

暖流と寒流がぶつかる隠岐の近海は、魚介類の宝庫です。新鮮な魚介類を使ったグルメ・特産品をぜひお楽しみください。



隠岐のいわがき

3月～6月が旬で、西ノ島は日本で初めて人工採苗による岩がきの養殖化に成功しました。岩がきは出荷前に滅菌海水処理を施し安全性を高めています。



アワビ

隠岐のアワビは極上品として、古来より朝廷に献上されていました。西ノ島では主に素潜り漁で漁獲され、貝殻はアクセサリーに加工されるなど、名産となっています。



サザエ

島では年間を通じて豊富に獲れます。サザエの炊き込みご飯はおふくろの味。



メザシ

浦郷地区の特徴である山から吹き降ろす秋風が、天日干しの「メザシ」作りに最適のため、浦郷産のメザシは品質の良さで有名です。



えりやき鍋

もともと漁師たちが船上で食べていた賄食。シイラを唐辛子や玉ねぎを入れ甘辛く煮た鍋で、隠岐では郷土料理を取り入れた初めての観光食とされた。「えりやき」とは魚を「炒める」が方言で「える」になったもの。



サザエ丼

隠岐といえばサザエ。出汁でやわらかく煮たサザエとあらめ、めかぶ、温泉卵をのせた一品。